

新潟県 公民館月報

昭和38年6月1日(毎月1回)1日発行

発行所 新潟県公民館連絡協議会

〔新潟市一番堀通野・興教育庁社会教育課内〕

〔電話(新潟) 94111の658〕

〔振替(新潟) 4094〕

発行人 飛田 一郎
(定価 1部15円)

6月号 (124号)

第一回評議員会

新会長に飛田氏(高)を選任

理事に樋口氏(巻)など七氏を委嘱

任期満了に伴う役員改選高かつた安沢純正氏と藤原健氏の改選、本年度県公民館の目標から、全く新しい現場型(開館)など重要課題人による陣容となり、今後の運営を委嘱する本年度に期待がもたれることになった。

一回評議員会が五月八日、報告事項

口午前十時より新 ①報告事項の殉職について(全員
海津市公民館で開催され ②報告事項) ③原公民館理事、同案例上事案

た。当日は各郡市公連 ④公民館予算増額運動費について
の役員、十八名のほか、 了承、第一回理事会の出席

県教委から各教区長も ⑤公民館予算増額運動費について
出席、欠席は六郡市の 了承、第一回理事会の出席

女といふ良好な出席率 ⑥公民館予算増額運動費について
で、大要次のことを審 了承、第一回理事会の出席

議定した。この結果 ⑦公民館予算増額運動費について
名会長、各理事のほま 了承、第一回理事会の出席



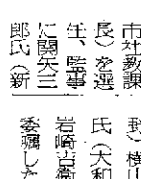
梅山氏



丸山氏



吉津氏



津島氏

一、審議事項
①県公民館大会開催について(基
本計画を了承)
②任期満了に伴う役員改選に
ついて
(上中下越か各一名、佐渡一
名、計七名の選挙案を付議重
審議の結果、新会長に飛田一郎
氏(高田市中央公民館長、前副
会長)、新副会長に梅山八十二
(直江津市公民館長、前理事)
丸山三郎氏(長岡市中央公民館
長、同市社会教育課長)、吉津勝
栄氏(新潟市中央公民館長、同
市社教課
長)を選
任、監事
に関三
郎氏(新
潟市中央公民館長、長尾義止氏
氏(大和 内山義文氏(新井)
野)横山三郎氏(加茂)関博
次郎氏(村)本間敬吉氏(畑
野)岩崎占衛氏(糸魚川)の七氏を
委嘱した。

次	
安次会長の辞表受理	P. 2
優良職員表彰	P. 3
38年度県公民館員名簿	P. 4
県公民館紹介	P. 5
公民館はアウトサイダーだ	P. 6
無手勝進講座の記録	P. 7

津市公民館長 天久保八八氏見
附市中央公民館長 長尾義止氏
(中須三和村公民館長)を選任。
理事に樋口弘雄氏(巻)小杉誠
次郎氏(村)、本間敬吉氏(畑
野)横山三郎氏(加茂)関博
次郎氏(村)本間敬吉氏(畑
野)岩崎占衛氏(糸魚川)の七氏を
委嘱した。

六月の歴史

エピクロス
古代ギリシアの哲学者。唯理論
者として快楽主義者となつた。彼
の主義は卑俗な退歩主義ではな
く、感覚の哲学上の解放であ
り、その目的は人間の幸福を生
活にある。

五月八日に開催された評議員会のが、たが私は純粋の公民館人であ
席上で、はからずも会長の御推薦り、進去市役所に二十五年、社会
をいただき、誠に貴大のへきれき、教育に十五年、計四十年という歴
内心不安のうち種々の台台に飛 史と経験を生かしてきたいと存
び廻つております。極めて浅学不 じております。



飛田新会長

心からの御支援を
..... 県公連会長 飛田 一郎

歴代会長の方針を堅持し、さら
に一段と入つり町づくりに推進
する公民館であつてほしいとい
う考えから、今後の県公連に対
果二百余の公民館の目標から、
心からなる御支援をお願いいた
まして会長就任の御あいさつ
いたします。(高田市中央公民館
長、前本会副会長)

安沢会長の辞表を受理

基準、条例案を了承

第 一回理事会が、さる五月七日新潟市柳水閣を開いた。当日は地方選挙終了後の会議であったが出席者は飛田副会以下約半数にとどまり、次の二十八年度月別事業計画及び級項目を検討した。

第一回理事会

- ①報告事項
 - 理事会の開催について (概報)
 - 安沢会長及び大高副会長の辞任について (辞表を受理)
 - 県公民館協議基準同
- ②報告事項
 - 条例草案案について (承前 報一三三号参照)
 - 県館指導主任交代について (概報)
- ③協議事項
 - 28年度月別事業計画について (別稿のとおり決定)

第一回主事会

常任幹事七主事を選ぶ



〔柏崎市中央公民館での同主事会〕

任期あけによる新常任幹事の選出等を中心議題とする本年度第一回主事会常任幹事会が五月十六日正午から柏崎市中央公民館議室を開かれた。杉野前幹事長以下十二名が出席、当日は県大会打ち合わせのため来市した飛田新会長のあいさつもあり、終了後、県大会会場を視察して散会した。新常任幹事次のおり。

- 新常任幹事
- 顧問 羽深野氏 (牧村) 濱辺吉雄氏 (中郷)
- 任期あけによる新常任幹事の選出等を中心議題とする本年度第一回主事会常任幹事会が五月十六日正午から柏崎市中央公民館議室を開かれた。杉野前幹事長以下十二名が出席、当日は県大会打ち合わせのため来市した飛田新会長のあいさつもあり、終了後、県大会会場を視察して散会した。新常任幹事次のおり。

②県公民館大会開催について 表彰計画、準備等検討

③公民館予算増額運動費 (施設関係補助の百分の二、授付の件) について (施設関係補助を受けた公民館が補助額の百分の二に相当する金額を全公連に交付し、将来の公民館予算増額運動費とする) こと、全公連の申し合わせ事項として各県連の責任において処理しなければならぬことになった。

- 中越 丸田昭三氏 (柏崎)
- 崎 金子恒雄氏 (三浦)
- 佐渡 奥田庄太郎 (畑)
- 下越 当日は出席者少数のため決定に至らず、その後新潟市中央公民館における主事会での次のとおり決定。

ことになっている。この趣旨の徹底について協議

④第一回評議会 (役員改選) による評議会の検討について等

◇なお、本会が直接間接に連関している評議会の担当役員を次のとおり決定した。

- 主事 白根 鈴木主事 (弥彦)
- また、主事会事業方針について、事務局長の月別計画に従って新しい展開をめざすことになった。



みんなで協力
新潟国体

今から県民あけて、次の項目を目標に健民運動を、実践しましょう。

一、町や村をきれいにしましょう。毎朝家の内外の一〇分間清掃を励行しましょう。

二、道路や川にゴミを捨てないよう、地域や職場で共同でカヤハエの駆除を行い、伝染病や食中毒の予防につとめましょう。

三、公園、駅、公衆便所など、みんなでたいていしましょう。

四、家庭、学校、職場、地域で花いっぱい運動を進め、環境の美化に努めましょう。

五、心にはまるところをこめて親切にしましょう。

六、明るくあいさつを交わり、だれでもわかる正しいことを使いましょ。

七、自分の町や村の知識を深め、問われたらしっかりと答えられるようにしましょう。

八、旅のエナケツを守りバスや汽車の中などは老人、病人子供つれの婦人をつたわりましょう。

九、集会は五分前には出席し、始めと終りの時間を厳守しましょう。

十、スポーツを積極的に実践し、健康増進につとめましょう。

十一、家庭や職場では毎月一回「健康の日」を定め、みんなでスポーツを楽しみましょう。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
事業名	理事会 評議会 主事会常任幹事会	主事会幹事会 編纂委員会 県会との懇談会	理事会 評議会 公民館協議会 公民館協議会	主事会常任幹事会 青少年指導者拡大研修	理事会、主事幹事会 県町村会との懇談会	社教関係団体臨時会 関東甲信越静公連大会 社教関係行政機関との懇談会	理事会 公民館職員長期講習 編纂委員会 県会との懇談会	主事会常任幹事会 公民館協議会 全国公民館大会	理事会 評議会 監事会
事業内容	当初予算審議、年間予算編成、第一回評議会、その他、同右 年間計画	資料、日誌等年間計画 青少年指導者拡大研修等	前年度決算、第一回評議会、前年度分会計監査 青年団、婦人連盟、PTA連との連絡 七、八、相崎市 情報交換、全般検討	八月以降の計画検討 三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、の計画検討	中間決算、後半計画 公民館振興対策について	中間決算、その他 千歳県、胎前市 共通問題検討	第三、四半期事業検討 県会との協力、十二、一、二、三、の計画について	情報交換、全般検討 十三、十四、十五日、島市公会	決算計画、追加予算更正 追加更正予算、翌年度事業計画について 中間決算、翌年度予算、農補 助要請について

昭和三十八年度県公連事業月別計画

第二回理事会

大会地元で初顔合せ

優良職員(館)など選考

新役員による第二回理事会が五月二十二日正午より柏崎市中央公民館で開催された。出席者は、中会長以下八人、理事、県社教課から五十嵐新助施設主任も出席し、それぞれ白紙紹介ののち、県大会の役割分担などのほか六項目の議案を協議、四時過ぎ終了した。おもな協議事項次のとおり。

一、報告事項
 ①関公連事務局長 会議終了について
 五月十四日東京師範大会館、飛田会長出席、詳細別稿。
 ②理事会議事終了について
 五月十三日群馬伊香保町、飛田会長出席、37年度決算、38年度予算事業計画案等協議。

二、協議事項
 ①全公連協議会終了について
 ②新任理事の務めについて
 ③新任理事は新任せず、新たに事務局本田主任を事務局局長に委嘱、樋口理事を事務局担当理事として委嘱した。
 ④協会教育委員について
 ⑤県大会における被表彰者(館)の選考について
 ⑥被表彰者、館



「大会地元で行なわれた第2回理事会」

第十二回全国大会の基本計画をきまる

五月十四日開催した全公連協議会の協議会では、第七回全国公民館大会の基本計画をつぎのとおり決定した。

①テーマ：地域社会における生活文化の向上と発展に資するため、公民館がいかにあるべきか。

②日程については、分科会を第一、二日に持たない、大会式典を第三日に持たないこと。

③分科会の運営にあたり、参加者の面でも二積み上げ方式をとるため、ブロック大会に参加したもののうちから少なくとも一名あてを各分科会に出産せしめること。

④分科会の構成は、第一部(行財政)、第二部(施設整備)、第三部(施設整備の未整備のもの)、第四部(国民運動関係)の四部に分け、第一部には「都道府県」と市町村、第二部から第四部会にはそれぞれ「都市地帯」と「農山漁村地帯」を推薦した。

⑤編纂委員の委嘱について(次の所定委員を委嘱した)
 下越、樋口弘雅氏(寄) 鈴木孝氏(寄)
 (寄)
 中越、横山旭三郎氏(加茂) 徳岡助夫氏(柏崎)
 上越、小林芳夫氏(直江津) 杉野哲次(新井)
 五十嵐久弥氏(県社教課) 本田清氏(事務局)
 ⑥37年度予算停止ならびに決算案について(第二次更正予算は次回協議会で承認を求め、決算案はその次に提出すること)となった。

⑦県大会における被表彰者(館)の選考について(被表彰者、館は次のとおり)
 優良公民館、館、刈羽郡北条町公民館、岩船山北村公民館、優良職員二名、梅山八士氏、優良職員十五名、飯浜一郎氏(柏尾) 石田哲三氏(員附) 丸山一雄氏(新井) 本田雅子氏(亀田) 成島徳太郎氏(安村) 岩崎照氏(相川町) 澤川秀二氏(津南町) 五十嵐豊氏(山北村) 齊井三氏(荒川町) 高田真吉氏(高田市) 渡辺吉雄氏(中郷村) 内藤省三氏(吉川町) 堀島定尚氏(白根市) 石山与五郎氏(寄) 今井吉吉氏(西川町)

月別計画未定の事業

1月	2月	3月
理事会 主事会 新年度予算と事業計画の協議(共同) 理事会と共同)	編纂委員会 知事との懇談会 反省、次年度計画 新年度事業に対する要望等	理事会 主事会幹事会 新年度予算事業委員会計画

- 一、連絡協議 全公連協議会二回、全公連事務局民会議一回、新潟県公民館協議会二回
- 二、研究講習会 全国的な社会教育研究会、社会教育学会等参加、教育普及出張所あるいは都市公民館地域で開催の運営委員会講習会等開催
- 三、諸事業 郡市公民館大会、上下越ブロック公民館研究会(教育普及出張所共催)、上下越ブロック主事会研修会、県公民館館長会議、訪問集會奨励、県公民館組織改定
- 四、県教委との共同事業 市町村社会教育指導一般、市町村公民館 施設整備奨励、県公民館職員長研修会、県公民館職員研修会
- 五、資料発行 新潟県の公民館(仮題)スライド作成、諸記原稿作成、優良図書(社会教育関係)の紹介あつせん
- 六、協力事業 健康運動(国体)のほか各種運動施設、各種問合帳

原稿をお待ちいたしております

字数自由 締切は毎月十五日頃

各地域での活動状況や資料、写真、小論文、あるいは願書、制限はなく、原稿用紙も事務局、日ごろ、掲載の妨げは断然を要し、短歌、俳句など、トビトビに準備してありますからお申し上げてあります。

昭和38年度県公連役員名簿

下越

郡市名	役名	評議員名	公民館名	主事会幹事名	公民館名
北新中 登新 中 新 五 白 西 燕 東 岩 村 佐 兩 新	監事 理事 理事 副会長	首山 藤田 恒吉 雄吉 田村 村 順 一郎 矢川 清 三 次 皆藤 信 三 郎 斎 憲 弘 吾 樋 新 市 一 神 保 部 五 郎 石 杉 間 次 吉 池 田 敬 吉 津 勝 二	豊新 榮田 町市 横 越 津 市 新 津 泉 根 市 五 白 卷 津 市 白 卷 津 市 津 川 市 新 津 市 新 津 市 新 津 市	神今 田 洞 光 粟 井 卓 史 長 林 井 毅 関 谷 川 夫 吉 北 重 仁 北 小 政 郡 齋 健 昌 板 昌 作 滝 善 庄 奥 典 五 松 太 郎 志 雄 郎 志 雄 郎	中 条 町市 新 須 田 市 小 須 田 市 新 五 白 卷 津 市 白 卷 津 市 川 村 教 朝 日 市 村 上 野 畑 中 向 新 湯 市

中越

郡市名	役名	評議員名	公民館名	主事会幹事名	公民館名
南見 三 加 三 長 枋 北 小 南 中 十 刈 柏	監事 理事 副会長 理事	土大 田保 嘉久 雄一 大 矢 保 大 八 横 高 山 正 一郎 丸 九 山 旭 友 山 丸 三 貞 関 山 一 利 河 久 上 五 政 上 五 小 富 昌	下見 村市 長中 沢中央 見 三 附 市 中 央 加 越 路 市 中 央 長 枋 岡 市 中 央 越 長 尾 市 中 央 長 枋 千 日 南 越 長 尾 市 中 央 長 枋 千 日 南 越 長 尾 市 中 央 長 枋 千 日 南	伊大 藤 信 男 金 鶴 島 順 平 深 子 子 恒 夫 室 卷 井 恒 恒 飯 井 橋 義 治 金 和 濱 旗 一 和 久 子 田 眞 滝 金 川 明 小 丸 田 暮 扶 丸 田 暮 一 丸 田 暮 一	中 島 村 見 三 附 市 加 越 岡 市 長 枋 千 日 越 長 尾 市 長 枋 千 日 越 長 尾 市 長 枋 千 日 越 長 尾 市 長 枋 千 日 越 長 尾 市

上越

郡市名	役名	評議員名	公民館名	主事会幹事名	公民館名
中高直 江 新 東 西 糸	監事 理事 副会長 理事	長 尾 義 正 飛 田 一 郎 内 山 八 義 竹 崎 敏 行 岩 崎 吉 衛	三 和 村 高 市 中 央 直 江 津 市 新 井 塚 市 安 魚 川 市	(常) 渡 辺 吉 雄 高 橋 原 功 善 大 野 深 勤 杉 野 深 勤 羽 伊 中 悠 郎 伊 中 悠 郎	中 郷 村 高 直 新 井 生 牧 能 魚 川 能 魚 川 市

二当選おめでとう

- 長
- 三 桑市議会議員 小原正三氏 (前三桑市中央公民館長、本会評議員)
- 北 浦原郡黒川村議会議員 伊藤敬太郎氏 (前黒川公民館長、本会評議員)
- 中 浦原郡黒田町町長 藤山勝正氏 (無期給) (前黒田町公民館建設促進委員長)
- 中 相模原市議会議員 金子孝男氏 (前相模原市公民館長、県社会教育委員)
- 中 南蒲原郡下山村村長 上田嘉久雄氏 (下山村公民館長、本会評議員)

四月に行なわれた統一地方選挙で本会関係者多数が当選した。五月七日現在事務局で判明している分のみ掲載したが、その他真連会青年団関係で七名が、市町村議員に当選していることなど合わせて相当数の関係者が当選している模様である。

当選者 (順不同)
 ○ 新潟県羽茂町 長 藤原 健氏 (本会担任理事、元羽茂公民館長)

良書紹介

広報の盲点と焦点

体験15年の研究記録

—申込みは県公連へ—

●樋上亮一著

A5判・362頁 ¥600 (〒100) 第一法規刊

戦後15年を広報研究ひとすじに生きた筆者が全国の広報関係者におくる指標

すいせんのことば

主要目次抜すい

自治大学校長 堀部 清

20余年にわたるわたくしの知友である樋上亮一氏が、長年にわたって続けられ広報研究の業績は、きわめて高く評価されるべきものであると思う。いま、自治大学では、その学識を「広報論」として講述してもらっている。

このたび、十有五年にわたる研究の成果をまとめた「広報の盲点と焦点」を世におくられるのは、わが国の行政民主化のために、まことに機宜を得たものであることを信ずる。

全国広報研究会理事長 立教大学教授文学博士 小山 栄三

永年、行政広報の指導的役割を演じてきた樋上さんの近著「広報の盲点と焦点」は、行政活動の一部としての、Government Publicity といかにあるべきか、Communication Policy 実行の方法、技術はいかにすべきかを記述している。広報業務にたずさわる人は、本書によって官庁広報の目標と限界、民衆に訴求するチャネルの選択と方法、行政における広報スタッフの機能等に関する無限の示唆を受けることができるであろう。

第I部 広報原論

第1章 行政広報の盲点と焦点

①涵みの最大公約数と六無着②首長に理解がないということ③カネがないということ④人手が足りないということ⑤読まれないということ⑥愛情は最良の技術である。

第2章 広報の基礎理念

①行政広報の本旨と定義②行政広報の性格③同義語・類似語と類似活動

第3章 訴求の原理と技術

①AIDURAとウセル②注意をひくには③読ませ聞かせるには④わからせるには⑤決心から行動へ

第4章 知らせることの歴史

①知らしむべからずの意義②太宝律令の普及と教化③鎌倉・室町にはじまる高札④江戸幕府の法令布達⑤明治新政府の周知普及⑥大正・昭和初期の情報宣伝

第5章 広報いまとむかし

①広報というこは②施無長親世音とPR③聴くことの歴史は古い④めうけんさいしの制⑤落書と落首⑥徳川吉宗と目安箱

第II部 短評と随想選集

広報よもやま15編・広報広報万華鏡16編・研修への提言8編・トラブルに思う7編

第III部 私の見た欧州の広報

①イタリー政府の広報活動②西ドイツ連邦政府新聞広報局③英国政府とロンドン市の広報④コペンハーゲン市のPR

第IV部 広報15年私史

①官庁PR草分けのころ②広報課長落第記③全国広報研究会の創立前後④全広研とともに10年



全県運動を提唱

栃尾で中越職員講習会

五月十七、十八日の二日間栃尾 県公連が本年統一テーマとした市公民館が運営をなす。谷原社「地域社会における生活文化の同教育課長、田中越田長所長、上高展に賛助するための公民館はか社教三、第八名、講師玉井新大教授、川口県企画課長、石田橋本 研究がなされ、特に全体討議で次議長六名を迎え、中越地区公民館の議を県公民館大会に持ちこむ教職員講習会が開催された。受講したことになった。 着市外八七名市内四一、二九一、公民館施設、設備、職員の充名で近來にない真剣さで研究協議が交された。研究課題は公連、

三、これがため町村理事者に対する認識を深めるため、県教育委員会(行政指導を強化せられたい。 三、県公連は総力を挙げて全県運動を強力に繰り返し展開する。 (飯浜一 郎・栃尾市公民館 主事報 告) [写真上は同会場]



[写真は大田主事]

趣味は囲碁、将棋、マッシュランなど。何かと遊ぶ強者。酒はほとんど飲まないと云う。 家庭では奥さんと二人の女の千の良きパパ。

ベテランのプロ

公民館勤務当初は黒く髪々としていた髪は毛も相当薄くなり頭だけを見ればどうと云う方が、眼裏に光り出す。顔のほころびや、若々しい声、細身の身長、背広姿の長く似合うと云う。 青年十、年令(五十)には見えない。 その誠実な性格と勤を公職員仲間をはじめ、地域住民、全その人々に愛されるゆえである。 中学校卒業後、高田測候所勤務17年1月1日迄、近浦通信

高田中央公民館主事 太田重治氏

特に軍隊時代通信隊にいたので電氣、機械関係に詳しく、当時の花型である「ナト」眼鏡を、をりやカリに、東奔西走の活躍をり有名でいまでも語り草になっている。 昨今は公民館活動に加え、総合選挙事務局として下越全地域の加入に専ら注ぎ、本年度より全道域を包含した名実共に下越公連にまさります。 摩の功勞に於ておぼせない。 また古い強が、団体の前身の神皇大会、札幌大会に五十の長距離選手として参加して、青年団当時高田市代表として第二回勤労報隊に推せんされ、三日月滿州に渡ったことは余りに知られてはいない。

公民館月報をはじめ読んで

月報五月号をそんなことを示せば教育者が正しく読んた。こんな育... 読んだ。こんな育... 読んだ。こんな育...

坂爪論文に思う

公民館は「アウトサイダー」だ

津田 順吉

「公民館は「アウトサイダー」だ」という坂爪論文に思う。公民館は、社会教育と立派な社会人を作る... 公民館は「アウトサイダー」だ...

「公民館は「アウトサイダー」だ」という坂爪論文に思う。公民館は、社会教育と立派な社会人を作る... 公民館は「アウトサイダー」だ...

公民館は「アウトサイダー」だ。公民館は、社会教育と立派な社会人を作る... 公民館は「アウトサイダー」だ...

38年度事業計画・予算きまる 全公連評議員会の主要事項... 公民館振興対策の重点きまる... 公民館は「アウトサイダー」だ...

金はなくとも……………

無手勝流講座の記録

徳間 助夫

職員と、施設とが、公民館が公民館として使えたらと願う。この三要素がそろえば受けはいいが、どこのいそんな所はない。事業費がほしいときた。

旧校舎の建物で、中野町支所内を問借して支所事務と兼任の公民館主事だった頃は、今と違って足が短期自動車運転免許だった。のフランスを二足してくれと機

あり、優秀な教官もいた。

受講者の中には市会議員あり、教育委員あり、社長ありだったが

三日後には申込み切をしなければならぬ程の盛況だった。

受講費として一人当り一五〇円を申込書に添付することとし、会場も都合もあって六〇回を募集し

この受講費を講師謝礼にあてるとした。

受講費として一人当り一五〇円を申込書に添付することとし、会場も都合もあって六〇回を募集し

この受講費を講師謝礼にあてるとした。

受講費として一人当り一五〇円を申込書に添付することとし、会場も都合もあって六〇回を募集し

この受講費を講師謝礼にあてるとした。

受講費として一人当り一五〇円を申込書に添付することとし、会場も都合もあって六〇回を募集し

この受講費を講師謝礼にあてるとした。

受講費として一人当り一五〇円を申込書に添付することとし、会場も都合もあって六〇回を募集し

この受講費を講師謝礼にあてるとした。

受講費として一人当り一五〇円を申込書に添付することとし、会場も都合もあって六〇回を募集し

この受講費を講師謝礼にあてるとした。

受講費として一人当り一五〇円を申込書に添付することとし、会場も都合もあって六〇回を募集し

この受講費を講師謝礼にあてるとした。

受講費として一人当り一五〇円を申込書に添付することとし、会場も都合もあって六〇回を募集し

この受講費を講師謝礼にあてるとした。

受講費として一人当り一五〇円を申込書に添付することとし、会場も都合もあって六〇回を募集し

この受講費を講師謝礼にあてるとした。

受講費として一人当り一五〇円を申込書に添付することとし、会場も都合もあって六〇回を募集し

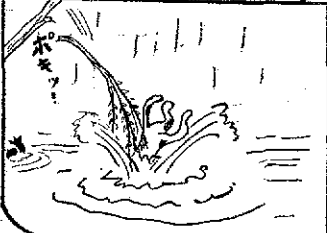
この受講費を講師謝礼にあてるとした。



写真にはあすのプランを練る徳間主事右、左から丸田社教主事、栗林書記、手前は風間主事の皆さん

三毛猫日記

No.6 うつきかす



寄贈ありがとう

道義再建(道義再建社)協力(行政監察局) 館報たがみ(甲子村公) 館報やひこ(弥彦村公) 宮内公民館 だより、館報すいばら(水原町公) いら(糸魚川市)かわね黒川村公(関川公民館) 福川公民館報、館報深、広報てらま(寺泊町公) 新井だより、村上公民館報、大福だより、ひこ(長岡中央公) 広報こいで(小出町) 松ヶ崎公民館だより、新潟県(東京新潟県人会) 津川町公民館報、十日町地区だより、本報かわね(川西町公) 新潟県図書館協報、いわむら(宮家村公) 新生(八木瀬村公) さわた(佐和田町公) 新潟社会福祉協報(県社会福祉協議会) 館報にしやま(西山町公) 真野公民館だより

① 道案内はあなたも わたしも気持よく

人に道をきかれ 新橋市主婦 守山はな た時は、ていねい に教えてあげましょ。 特に道順のわかりにくい所は近くまで連れて行ってあげるといい心がけがほしいものです。 全国各地から訪れる方たちのために、出来るだけ多くの道順を示す標示や案内板を設けることにしよう。 浜浦小学校六年 安藤幸一 「親切とは……多くはこう思う。こうやってれば「あ、よくありがた」と思われる」とか、「おれ、よく知らぬが」といふと、「おれ、よく知らぬが」といふと、「おれ、よく知らぬが」といふと、折角話していることは相手に通じなかつたら親切がえつておぼたなることがあるでしょう。 ▲親切運動について

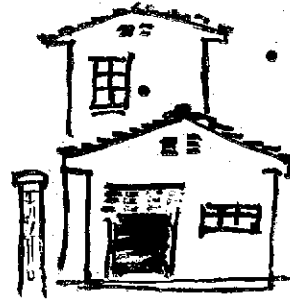
写真にはあすのプランを練る徳間主事右、左から丸田社教主事、栗林書記、手前は風間主事の皆さん

公民館ひろいある記

奇形児婦人学級の巻

好評だった「公民館横丁」にかわつて「公民館ひろいある記」を連載いたします。新記者に御期待ください。(編集子)

公民館横丁記者(北原克司氏)代で立派なものをいいます。現南魚沼市(現中野市)が栄光である。この婦人学級は部落社会教育主幹が学校教員(面でも優れた実感者であること)に指導し御座りまふ。



公民館には多くの職員が真剣にはらわっている。本道に頭の下る思いである。そこで横町から足さふみ出して、マン公の向かひに、とてまをたてまつり、いろいろものをひろひ歩くことにする。九ちゃんのいうように上だけ向いて歩いても公民館の姿はわからない。かわつたマンでお伝えすることをしたい。

奇形児婦人学級

先代田原から歩いて五分、残雪の中の部落公民館に着く。小須戸町教育委員会であり保育所でもある。いかにも部落公民館というにふさわしい。「いざ鎌倉」ともいふのでないが、沿道に樹木は鬱鬱と茂り、形もさまざま。女児も入ると古い建物が掃除も行き届かぬ。飾られ火もおきていてなんともいえない。和やかたな雰囲気(いづい)である。

定刻にはじられると、進行も遅延も経過説明も学級生自らが交

指定の町で、全町あつて推進に努力された。指定を終つた現在でもその歩みはつづけていられる。訪問集金の普及、婦人会の百万人の指し合ひ活動等も活発であり、先般の表彰発表会では保科会さまの報告も着実な歩みがかがを痛感した。(又三郎)

公明選挙の裏ぐち

青木英治

五月号のあとがきに「公明選挙」の事例がありました。お送りしたものが、今回の選挙の美「さび」とあるのを読んで、教育の態はうたがたでしよう。……効果があがるどころか、選挙民がうろたへるとは、日頃の政治教育、かくまでくさつたのか、憤りを感ずる。成果がどのように表われたか、短歌七首を送る。

公明選挙の名はいとも傳げれど、時々くもが勝つて世評に捨てられ、以下短歌は何かなつかい。

物質が当選させる選挙と落選候補に示す離散する。街車車気やくれもなく連呼する。ペトロロールの眼裏、し過ぎ行く。文盲の病人までもりやうで違ふ選挙に憤りたかまる。

口風でやてぬもまで通ひ入れる投票風京師選挙。組織(後援)作り、告示の前には終るまで一坪出の日には勝開(さき)を

降りつき雪に芥を繰り込み、繰りもしる雪を形成れる。華道華ぶ女なるし、泰山木の枝を、雪かき振り振りの良き松の折れ枝、こが貝の滑のこる、雪の下より、脆き梅松の玉枝は、さりなかり、竹藪を、くいたるは、さびし、閉ふ閉もあらず、積みたる雪、雪に折れ、伝ふる春の裸木。(元木富雄議員、糸井市公民館長)

あとがき

選挙後、あつたたく、本会役員交代、例年より一カ月も遅れで出発した県公民館大会の準備、個人的には大会直前に父の死に会うという不利の事態が続き、たつた。

ごあんない

会期 六月二十一日〜二十四日
会場 新潟市 小林(注回、彫製、工芸)
新潟市 大和(日本画、書道)

◎ 入場料

大人	(当日) 二百円
(前売) 百五十円	
(団体、三十名以上の場合) 百三十円	
(但し引率者は三十名毎に一名無料)	
高校生	(当日) 百五十円
(前売) 百円	
(団体) 八十円	
小・中学生	(当日) 八十円
(団体) 五十円	

各 位 殿

時、初夏の候、よい、ま清澄のこととお喜び申し上げます。

かねて敬望しておりましたのが、国最大の美術展覧会、日展の新潟開催がようやく実現することになりました。

日展は申すまでもなく日本画、注回、彫製、工芸、書道の五部門の公尊最、新潟日展はこの厳選された入選入賞作のうちから特に上位入賞、県内外入選は約四百点の秀作をそろえたものであり、当地方の美術文化向上のためにこのうえないこと存じます。折角の機会でもありますので、一人でも多くの方から観覧していただきたく、別項のように、前売や団体割引を大きくした入場観覧券を作りました。

つきましては、美術展(御座り)あなを、特別の協力を、わすれなく、切に、お願い申し上げます。

新潟日展の成敗を期待して、いるものでございます。

敬 具
新潟県教育委員会
新潟市教育委員会
新潟日報社